

## 保護者の皆様へ

私は、本年度よりトロント補習授業校の校長を拝命することとなりました、川村武弘と申します。当初、4月7日に着任予定でしたが、残念ながら未だカナダへの入国が認められず日本で自宅待機中です。

日本では、5月4日に「緊急事態宣言」を継続する旨、発表されました。日本でも多くの地域で学校の休校が続いている状況です。トロントでも同様の状況にあると聞いており、本校の子どもたちの学びを止めないために本校職員と Web 会議を開き、対応を進めているところです。

私は、令和2年度の学校経営の基本理念として、本校の教育目標を『夢に向かって、自ら考え行動し、心豊かで調和のとれたグローバル人材の育成を図る』  
～すべては子どもたちの笑顔のために。夢の実現のために～  
とし、本校で学びたいと思う子どもたちのために全力を尽くす所存でおります。

今はご家庭で過ごす時間がほとんどとなっておりますが、このような時期を、逆に子どもたちに新学習指導要領が掲げる「主体的な学び」の力が培えるチャンスと捉え、各ご家庭でお子さんの学習のご支援をお願いいたします。

今後、学校からは、これからのスケジュールや新担任より在宅学習支援の内容等の連絡を入れさせていただきます。ご家庭での子どもたちの学びが開校後の本校の授業につながっていきますように、是非ともご理解とご協力をお願いいたします。

ご挨拶の最後となりますが、皆さま、健康にはどうぞ十分ご留意ください。ご家族の健康を守っていただくことが、今後の学校そして社会を守ることになります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

トロント補習授業校  
校長 川村 武弘

## トロント補習授業校休校中の学習支援開始について

5月16日に、新学年のクラス担任より、各ご家庭にご挨拶の電話をさせていただきます。

その際担任より、

- (1)5月23日よりオンラインツールを活用した課題提供による学習支援の開始
- (2)お子様の在学確認
- (3)在学を希望される場合は、保護者の E メールアドレス登録手続きのお願い
- (4)届け出住所に変更があるかどうかの確認

\* E メールアドレス登録についての詳細は別途掲載させて頂いておりますのでご参照下さい。

——本校の当面の見通しと今年度の予定——

6月開校、7月開校、9月開校を想定し、学校開校の準備をしています。

### 《授業日数確保のため》

夏季休業期間の7月25日・8月1日・8月8日・8月15日・8月22日・8月29日

また、休日の10月10日を授業日として追加

6月開校の場合の授業日数 31日→38日

7月開校の場合の授業日数 29日→36日

9月開校の場合の授業日数 26日→31日

※但し、TDSB との契約が締結できた場合

### 《授業時数確保のため》

授業時数確保を優先した行事削減

(主な削減行事)

・幼稚部・小学部運動会

・作文・意見文発表会

6月、7月開校の場合、幼稚部年長、1・2年生は中止／9月開校→全学年中止

・秋の幼稚部発表会

・高等部教育講演会

### 《授業時数(コマ数または時間)確保》

・小学部・中学部は、授業を40分に短縮し、7コマ行う。

7コマ目は国語と算数(数学)を交互に入れ替え、主要教科のコマ数を増やす。

・高等部は、100分授業を3コマ行い、授業時間を1日合計30分増やす。

・幼稚部は、発達段階等を考慮し、通常通りとする。

\* 始業・終業時刻は変わりありません。

### 《教員の教材研究の時間を確保するための事務作業の軽減のため》

・通知表は年1回

・漢字検定の中止

・海外子女文芸作品コンクールは、個人応募とします。(ホームページに掲載済)

(特別措置により補習授業校に在籍していれば個人応募も学校応募と認められます)

### 《教科書について》

- ・教科書は、各ご家庭への配布に向けて運送会社と交渉中です。  
学習支援開始までにお手元に届けられない場合は、学習の一環としての課題提供に必要な教科書の部分を PDF にして提供します。

### 《副教材について》

- ・副教材については、コロナウイルス感染拡大による影響で日本から到着していません。  
著作権フリーの教材、自作プリントで対応します。

### 《オンラインツールを活用した学習支援》

5月23日より毎週土曜日課題の提供開始（詳細につきましては後日ホームページに掲載）

- ・幼稚部・小学部・中学部は、Google Classroom 等のオンラインツールを活用し、発達段階に応じた課題提供による学習支援を行います。
- ・高等部は、課題を中心に考え、オンライン授業を試行的に取り入れていきます。

### 《著作権について》

4月28日施行改正著作権法は日本国内に限定され、海外には及ばないとの回答が領事館を通して文部科学省よりありました。

教科書の PDF 化の提供は、学習の一環としての使用に限られることから、課題提供に必要なページの提供となりますこと、ご了承の程お願い申し上げます。